

平成 26 年度第 19 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 27 年 3 月 18 日（水）09:35～10:00
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり

議題 1 平成 30 年度全国高等学校総合体育大会の開催準備に係る庁内体制について

●阿形保健体育課長（資料 1 に基づき説明）

平成 30 年度全国高等学校総合体育大会の開催準備を進めるため、平成 27 年 5 月に、三重県教育委員会教育長を会長とした三重県準備委員会を設立し、別紙 1 の組織案、別紙 2 の平成 27 年度スケジュール案のとおり進めていきたい。

また、平成 28 年 3 月を目途に、三重県準備委員会の規模を拡大し、知事を会長とした三重県実行委員会を設立し、その組織を別紙 1 の案として、三重県準備委員会において調整を進めたい。

なお、本大会の会場地市町の内定状況及び、平成 33 年に本県で開催する国民体育大会における現在の会場地選定状況は、別紙 3 のとおりである。

（質疑等なし）

議題 2 ワーク・ライフ・マネジメントの推進について

●森行財政改革推進課長（資料 2 に基づき説明）

ワーク・ライフ・マネジメントの推進状況について、資料 2-1 のとおり超長時間勤務者数、年休取得時間については、目標を達成する見込みであり、時間外勤務時間については対前年度 93%となる見込みである。推進項目として掲げた介護アンケートの結果と今後の取組の方向性は、資料 2-1 別紙 1 のとおりである。概ね順調に推進できているが、課題もあり、それらをふまえて平成 27 年度は、資料 2-2 のとおり進めたい。

☆加藤観光・国際局長

時間外勤務時間が 31 年度時点で 30%削減というのは、どのように減らしていくイメージなのか。

●森行財政改革推進課長

基本的に前年度を上回ることは想定していない。各部局の状況に応じて 31 年

度までの年度毎の目標を設定してもらい、部局単位で削減を進めていただきたい。

☆加藤観光・国際局長

30%の考え方は。

●森行財政改革推進課長

総勤務時間縮減運動を推進していたなかで、数値の低かった平成15年度をベースとし、そこに戻すため、30%としている。

☆加藤観光・国際局長

時間外勤務時間の削減目標は「三重県特定事業主行動計画」に掲げているのか。

●森行財政改革推進課長

男性職員の育児休業取得率や育児参加休暇取得率は掲げているが、時間外勤務時間の削減目標は掲げていない。

☆西城こども・家庭局長

予算は確定しているが、事業を統合して進めた方が効率的な場合等は、部局長判断で進めていいか。

●稲垣総務部長

通常の予算協議で進めてもらいたい。

☆植田副知事

時間外削減については、皆様のご協力で、一定の成果はでていますが、部局間のばらつきがある。今後も管理職がリーダーシップをもって、かけ声だけではなく具体的な取組を進めていただきたい。行動計画を策定する年度であるが、計画のスリム化と併せて、作業の効率化も進めていただきたい。

☆石垣副知事

農林水産部の超長時間勤務者の見込がゼロになっており褒めておきたい。過去にはなかったのではないか。

☆橋爪農林水産部長

2月末時点では、このままゼロになる見込みである。

議題3 三重県消費者施策基本指針の策定について

●西川消費生活監（資料3に基づき説明）

資料3により、三重県消費生活基本指針の概要について説明。

このたび、消費者を取りまく社会情勢の変化、そのことに伴い整備された消費者関連法への迅速・的確な対応の必要性をふまえて「三重県消費者施策基本指針（案）」を策定した。今後、関係部局と連携しながら、消費者施策を進めていきたい。

（質疑等なし）

議題4 三重県観光キャンペーン第5弾オフィシャルガイドブック等について

●加藤観光・国際局長（資料4に基づき説明）

平成27年4月からの三重県観光キャンペーン第5弾のオフィシャルガイドブックとエリアパンフレットをお配りしている。オフィシャルガイドブックは、みえの国観光大使や地域で活動されている人々にみえの魅力を紹介してもらっている。

また、企業と連携して観光キャンペーンコラボ商品を開発しているが、今回、みえックスキャンディーの第3弾ができたのでお配りした。4月からみえ旅案内書でも配布する。

また、カラオケ大手とのコラボレーションは、全国の自治体で初の取り組みなので、この機会に是非利用してほしい。

（質疑等なし）